



DIALIBREⅢ 機能比較表		for TDP	CORE	STANDARD	PREMIUM
機能	ワークフロー構築	—	○	○	○
	出力コントロール / ジョブ管理	—	○	○	○
	リモートプレビュー	—	○	○	○
	RIP 済みデータ計測機能・差分表示機能	—	○	○	○
	PDF プリフライト	—	—	○	○
	FACILIS自動面付	—	—	—	○
	ColorPro	—	△	△	△
	TrapPro	—	△	△	△
	In-RIP 簡易面付	○	○	○	○
	クライアント数 ※1	—	2本	2本	2本
	1bitTiff/8bitTiff 入出力	—	○ ※2	○	○
	PPF ファイル出力 (CIP3 コンバーター)	—	△	△	△
	RasterPDF	△	△	△	△
	インキボリュームヘルパー	—	△	△	△
プラグイン	1630 Plug-in	DIALIBRE Ⅲ Core SDP-RIP に SDP-Eco1630ⅢRz 出力機能追加			
	MADIATH Plug-in	DIALIBRE Ⅲ Core SDP-RIP に MADIATH 出力機能追加			
	TDP Plug-in	DIALIBRE Ⅲ Core SDP-RIP に TDP324/459/580/750 出力機能追加			
オプション	CIP3 コンバーター	印刷機のインキプリセット用 PPF ファイルを書き出す			
	Tiffout option for 1630	DIALIBRE Ⅲ Core for 1630 に TiffOUT を追加			
	Media Saving	複数のジョブを配置して出力する機能、フィルム出力時に感材の無駄を省く			
	TrapPro	あらかじめ設定したトラップパターンに応じ、自動トラッピング処理を行う			
	ColorPro	RIP内で sRGB、AdobeRGB データから自動で JapanColor 準拠の CMYK データに変換			
	RasterPDF	RIP 処理後のラスターデータをマルチページの PDF として出力 解像度を自由に選択できる ※3			
	インキボリュームヘルパー	各色の刷版の画像面積率を棒グラフにしてプリント出力、CIP3 非対応の印刷機に威力を発揮			
	TDP-459Ⅱ 長尺オプション	最大出力長を 660mm から、1,500mm(ネガ・ポジ共に)まで拡大			
	TDP-750/580 長尺オプション	最大出力長を通常の 775mm を 1,900mm に拡大 (ネガ出力時は、1,300mm)			
	SDP-RIP Manager 1 クライアント追加	SDP-RIP Manager にクライアント追加 (通常は 2 クライアント)			
	PDF プリフライトチェック	PDF プリフライト機能を追加			
	DIALIBRE SDP-RIP IM Engine Ver.1.0	自動面付機能追加			
	SDP-RIP IM Engine クライアント	SDP-RIP IM Engine 1 クライアント追加			

※1 バージョンアップした場合、クライアント数が増える場合があります。
 ※2 一部非対応
 ※3 for TDPは1,300dpi以下

○: 標準 △: オプション

DIALIBRE SDP-RIP ケアパックのご案内

RIP、パソコンの保守は、DIALIBRE ケアパックをご利用ください。

- SDP-RIPのリモートサポート
- SDP-RIPシステム障害の原因切り分け
- ハードウェア障害発生時の代替機貸し出し、およびセットアップ
- ハードウェアメーカーによるハードウェア障害復旧後のSDP-RIPシステムの復旧
- パッチソフトのインストール等

FACILIS シリーズ ラインナップ

FACILIS Supremo
 FACILIS Supremo 4UP
 菊半載向け製品 (サイズ制限: 850mm×700mm)
 FACILIS Supremo 2UP
 菊四載 / POD 向け製品 (サイズ制限: 600mm×480mm)



FACILIS EZ
 かんたんPDF面付けソフト



FACILIS PASTE
 かんたん貼り合わせソフト



三菱製紙株式会社

〒130-0026 東京都墨田区両国2丁目10番14号 両国シティコア <https://www.mpm.co.jp>

三菱王子紙販売株式会社

〒130-0026 東京都墨田区両国2-10-14 両国シティコア URL <https://mo-ps.co.jp/>

販売店

DIALIBRE が、プリプレス工程の最適化と
 コストカットを実現します。



複雑なジョブの流れを整理し自動的に確実に出力までの流れを作る、シンプルでシームレスなワークフロー「DIALIBREⅢ」。

DIALIBREⅢの基本概要

PDFネイティブ対応のSDP-RIPを中心に、ジョブフローを管理する「SDP-RIP Manager」、自動面付け機能を持った「SDP-RIP IM Engine」、面付けソフト「FACILIS」の各商品構成の見直しと連携を強化しました。自動化と省力化をコンセプトに、従来のDIALIBREをさらに使いやすく、PDFプリフライト機能、簡易検版機能やインキボリウムヘルパーなど、多彩なオプション機能をアップしました。

制作、製版、出力など印刷会社の各部門をシームレスに繋ぐことにより、工程間をまたいだオペレーティングがスムーズに行えます。

お仕事にあわせて3つのモデルをご用意しました。



Coreモデル

ジョブコントロール機能とプレビューのみの基本ワークフローです。

Standardモデル

EntryモデルにPDFプリフライト機能を加えた、PDFワークフロー向けのモデルです。PDF運用に最適なモデルです。

Premiumモデル

StandardモデルにFACILISの面付けソリューションを加えたモデルです。FACILISの面付けテンプレートを活用し、ホットフォルダによる自動面付け処理が行えます。

PDF2.0対応

PDF1.0~2.0をネイティブに処理します。PDF最適化機能を搭載しており、軽微な構造エラーがあっても正常に処理できます。ほかに、従来からのPostScriptやTIFF、JPEGにも、一つのエンジンでネイティブ対応しています。

様々なデバイスと連携

セッター出力用の1bitTIFFやブルーフ/検版用の8bitTIFFデータの入出力をサポートしています。解像度や網点線数は自由に設定できるので、さまざまな出力デバイスとシームレスに連携することが可能です。

SDP-RIPManager

Mac Clientが、最新版の64-bit OSに対応しました。オプションであった「Viewer Plus」の機能が付加され、網点%、線数、網角度、距離の計測機能が標準搭載され、さらに注釈機能が付いています。

リモートプレビューリモート出力

CTPと制作部門の場所が離れていても制作部門からフルコントロールが可能で、RIP済みデータのプレビュー確認を行ったのち、リモートでCTPへの出力が可能です。

PDFプリフライト機能

PDF運用では、印刷に適したPDFにて運用することが重要です。PDFプリフライト機能により印刷に適さないPDFの確認・修正が行われ、確実なPDFデータ運用が可能となります。

※DIALIBRE Standard 以上

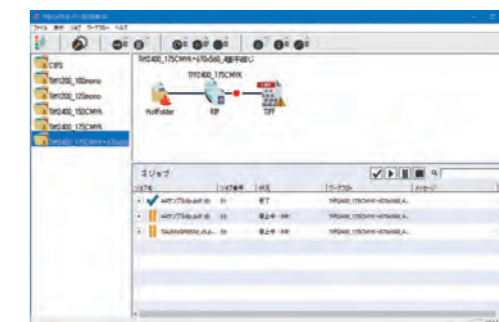
多様なオプションを用意

RIP処理後のラスタデータマルチページのPDFとして出力できる「ラスタPDF」、印刷機のインキ壺プリセット用のPPFファイルを書き出す「PPFファイル出力」、sRGBやAdobe RGBデータからJapanColor準拠のCMYKデータが作成できる「ColorPro」等多様なオプションを用意しています。

ワークフローを直観的に構築

フローの構築は、デバイスなどのアイコンを接続して行くだけです。RIP処理後に色校正の確認の指示を行ったり、プレビュー確認のためのストップアンドゴーも設定できます。

また、ホットフォルダに、入稿データを入れるとあらかじめ指定した処理をします、例えば、「ファイル名」「ファイルの種類」「出力版サイズ」などの多くの条件を設定する事が可能です。



Platelayouが4面付をサポート

CTPの版面設計のための面付けテンプレートの作成ができる「Platelayou」が平綴じ・中綴じの4面付(殖版は16面付け)をサポートできるようになりました。刷版に対するページ配置位置情報を設定しておくことで、In-Ripで自動で面付け処理を実行しますので、刷版設計作業が効率化されます。

